

令和4年度

東公民館事業報告書

目 次

令和4年度公民館事業報告	〈ページ〉
1 子育て親子支援	2 ～ 8
2 青少年体験チャレンジ活動	9 ～ 13
3 学びあい・人権・地域ふれあい	14 ～ 25
4 自主学習グループの育成援助	26 ～ 27
5 生涯学習奨励員活動支援	27 ～ 30
6 地域づくり推進事業の協力援助	30 ～ 31
7 情報提供事業	32
8 各種団体事業の協力援助	33
9 地元教育機関との地域連携事業の取り組み	34
10 公民館利用状況	35

令和4年度公民館事業報告

1 子育て親子支援

すくすくおやこスクール「前期」

(1) ねらい

- ①親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ②子育てをする親が子どもと一緒に運動する機会を作り、健康増進を図る。
- ③参加者同士が交流する時間を作り、保護者がリフレッシュする機会を設ける。

(2) 概要

対象：第1回 東地区在住の未就園児（月齢3か月以上の首がすわった子～1歳6か月までの子）とその保護者 15組

第2回 東地区在住の未就園児（1歳7か月～3歳未満の子）とその保護者 15組

広報：公民館報、チラシで募集

受講決定者：22組 44名

参加者：15組 30名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	6/6（月） 10:30～11:30	抱っこでエクササイズ	実技	マミーナボディメソッドインストラクター 峰岸 圭衣	11
2	6/13（月） 10:30～11:30	親子でピラティス	実技	マミーナボディメソッドインストラクター 峰岸 圭衣	4

(4) 評価と反省

第1回では、多くの参加者が子育て親子支援講座の受講が初めてだったが、打ち解けた様子でエクササイズを楽しんでいた。コロナ禍で外出や運動が思うようにできなかったため、体を動かす機会を得てリフレッシュできたようであった。講座終了後も講師の配慮で保護者どうしが交流と情報交換していた。抱っこでエクササイズは子どもと一緒に楽しめる運動なので、家庭でも繰り返しできると好評であった。

第2回講座では、子どもの成長に伴って親は体力を使うので今のうちから産後の身体の立て直しをすることや朝に胸を広げる動きをすると良い等、講師からアドバイスがあった。講師の指導が一人ずつ行き届き、参加者はピラティスの基礎を学べたようだった。子どもと一緒に運動できるプログラム構成となっ

ており、家庭でも繰り返し楽しめ、親子の絆が深まると大変好評でアンケートの満足度も高かった。



抱っこエクササイズ



親子でピラティス

すくすくおやこスクール「中期」

(1) ねらい

- ①子育てに必要な知識を学習し、保護者の教育力を高める。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③参加者同士が交流する時間を作り、保護者がリフレッシュする機会を設ける。

(2) 概要

対象：第1回 東地区在住の未就園児（0～1歳6か月の子）とその保護者 15組

第2回 東地区在住の未就園児（0～3歳の子）とその保護者 15組

広報：公民館報、チラシで募集

受講決定者：24組 50名

参加者：23組 46名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	8/1（月） 10:00～11:00	離乳食のお話と子育て相談	講義	子育て支援課 管理栄養士、保健師	8組
2	8/29（月） 10:00～12:00	手形足形アートづくりとふれあい遊び！	実技	Petapeta-art アドバイザー 坂本 ゆきえ	15組

(4) 評価と反省

第1回目では、管理栄養士の話に熱心に耳を傾け、聞き入る様子が見受けられた。同じくらいの年齢の子を持つ親子が会える機会を設けられ、地域の子育

て世代の交流ができ、参加者の日頃の育児ストレス解消につながった。

第2回目の講座では前半のふれあい遊びで参加者同士が打ち解けて和やかな雰囲気それぞれの親子が作品づくりを楽しんでいる様子であった。記念になる作品を親子で楽しく作れたと好評であった。



離乳食のお話と子育て相談



手形足形アートづくりとふれあい遊び

下川淵・上川淵・東 三館合同ベビープログラム

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 概要

対象：第一子（令和4年2月25日～6月24生まれ）と母親 10組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	8/24（水） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て 支援課職員 B Pファシリ テーター	10
2	8/31（水） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			10
3	9/7（水） 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			10

4	9/14 (水) 10:00～12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に赤ちゃんも大切に			10
---	-------------------------	---	--	--	----

(4) 評価と反省

本事業は、上川淵・下川淵・東公民館合同で実施している。今年度は順番により下川淵公民館で実施した。月齢が低いため中々集客が難しいが、保健師訪問時の紹介や、他地区からの申込みもあり、10組の親子が集まった。最初は緊張していた参加者も回が増えるごとに打ち解け、子育ての悩みを共有し合い、有意義な時間を過ごすことが出来た。グループワーク中心の講座であり、初めての子育てに追われ悩む参加者にとって、自分で考え、自分の思いを話す貴重な経験になったと思われる。

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①子育て支援において必要な知識及び技術の習得。
- ②地域における子育て支援の実践活動の充実を図る。

(2) 概要

対象：保健推進員、民生・児童委員、主任児童委員

広報：保健推進員会及び民生委員・児童委員協議会の定例会で周知募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	8/24 (水) 14:30～15:30	子どもに多い事故と予防について	講義	日本赤十字社 群馬県支部 川田 繁子	47
2	9/7 (水) 14:30～15:30	子どもの育ちとかわり方	講義	幼児教育アドバイザー 塩崎 政江	37

(4) 評価と反省

- ①「あずま子育てひろば」の担い手でもある民生・児童委員及び主任児童委員を対象に定例会後に実施した。講師から小さなお子さんは昨日できなかったことが今日できるようになるため一人で外に出て行方不明のなるケースもあるので、注意が必要とのアドバイスがあった。具体例をあげた講話はわかりやすく、地域の子育て世代へのアドバイスに役立つという意見もあり概ね好評であった。
- ②「あずま子育てひろば」の担い手である保健推進員を対象として定例会後実施した。本講座のために特別に構成したパワーポイント資料がとてもわかり

やすかった。保健推進員の方々も熱心に聞き入り、マイクを向けると様々な話をされていたこともあり、講師と参加者の一体感のある講座となった。自己肯定感の持ちにくい現代社会の問題を浮き彫りにし、子育て世代の支援に向けた知恵と人を愛する心と優しさに触れられた講演であった。



子どもに多い事故と予防



子どもの育ちとかかわり方

すくすくおやこスクール「パパ・ママ講座」

(1) ねらい

- ①夫婦で講座に参加し、子育てについて学ぶことで夫婦の絆を深め、相互理解を促す。
- ②父親と子どものふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。
- ③母親の育児に関する不安やストレスの解消を図る。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者（父母） 15組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

受講決定者：8組 26名

参加者：5組 15名（父親5名 母親5名 子ども5名）

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）
11/27（日） 10:00～11:00	パパ・ママ講座 パパとお子さんはリズム遊び ママは子育て井戸端会議	実技 講義	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸 前橋市幼児教育アドバイザー 田子 文子

(4) 評価と反省

父親と子ども向けのリズム遊びの講座では、絵本や楽器などを活用しながら父親と子供が一体となって体を動かしながら掛け声を発し、元気に楽しそうに学んでいた。小さなお子さんたちの笑顔が印象的で、父親と子どもの愛情やきずなが感じられるひと時でした。

母親向けの講座「ママは子育て井戸端会議」は、子どもの困っているところ

ではなく、良いところや様子を聞いて、プラスに変えていく力を大切にしてい
く。子どもが挑戦していく力は、保護者の支えが必要であり、心配ばかりする
と怖気ついてしまう。失敗しても平気だよと見守ることが必要。講座に参加す
る親は情報収集が出来る人だと感じた。この講座を参考にさせていただき、自分
も周りもプラスに変えていけるような方たちになってほしいと願います。



パパと子「リズム遊び♪」



ママは子育て井戸端会議

すくすくおやこスクール「後期」

(1) ねらい

- ①保護者の保育力を高めるため、親子のふれあい方や遊び方について学ぶ。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③本事業は東公民館と昌賢学園群馬医療福祉大学が連携して実施し、きめ細
かな家庭教育の支援とその効果を一層高めることを目指す。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者 15組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

受講決定者：15組 31名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	1/23（月） 10:00～11:30	親子でふれあい遊びと絵 本読み聞かせ	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	—
2	1/30（月） 10:00～11:30	親子で楽しく運動あそ び！	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	—

(4) 評価と反省

後期講座は例年群馬医療福祉大学に地域連携事業として依頼している。講師
はベテランの現役幼稚園長で、身振り手振りを交えたテンポよく表情のある絵
本読み聞かせと、講師のギター演奏やCD音源を利用したふれあい遊び・運動

遊びは毎年好評を得ている。今回は月齢の低い子供が多かったが、じっと絵本に見入っていたり、ふれあい遊びでは保護者の膝に乗ったり抱っこしてもらいながら親子共に笑顔で参加出来ている様子であった。絵本や動画を紹介した資料を配布いただいたので、自宅での遊びや教育の参考にしてみたい。

「産後ケア講座」

(1) ねらい

- ①エクササイズや対話の場と主体的な学びの機会を提供する。
- ②参加者同士の交流を深めることで、地域でのコミュニティ作りを支援する。
- ③まえばし市民提案型パートナーシップ採択事業「C o r e d w o m a n p r o j e c t」の協働事業として実施し、それぞれの強みを活かすことで、公民館事業としての相乗効果を図る。

(2) 概要

対象：①② 2か月～8か月未満の子と子の母親

③ 2か月～8か月未満の子と子の父母

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
3/3（金） 10:00～12:00	バランスボールエクササイズ とおしゃべりママサロン （第1回）	実技 講義	上州m a m a t o 代表 峰岸 圭衣 石井 尚子	—
3/10（金） 10:00～12:00	バランスボールエクササイズ とおしゃべりママサロン （第2回）	実技 講義	上州m a m a t o 代表 峰岸 圭衣 石井 尚子	—
3/19（日） 10:00～12:00	夫婦参加型講座	実技 講義	上州m a m a t o 代表 峰岸 圭衣 石井 尚子	—

(4) 評価と反省

本講座は前橋市のパートナーシップ事業として採択されたものである。産後母親が一人の人として自分らしく生きていくために、自分のために参加する講座として開催した。バランスボールエクササイズは赤ちゃんを抱っこしたまま行うことが出来、産後のエクササイズにぴったりであると感じた。おしゃべりママサロンは、参加者が自分主体でたくさん話すことで、産後引きこもりがちな母親にとって気持ちを発散したり、整理する良い機会になったと思われる。第3回は19日に夫婦参加型講座として実施予定である。

2 青少年体験チャレンジ活動

青少年体験・チャレンジ活動「インリーダー講習会」

(1) ねらい

小学校5、6年生を対象に野外での共同生活を通じて、団体活動を経験するとともに子ども会リーダーとしての資質の向上を図ることを目指します。

(2) 対象等

対象：東地区内の子ども会 小学生5年生、6年生

周知方法：子ども会育成会を通じてチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/9（土） 8:30～ 9:05 9:10～12:00	インリーダー講習会 「KYT講習会」 「ワックスボール （キャンドル作り）」	講義 実習	市子連 岡本、真下、浅原先生 東地区子育連	59

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスの影響により、各種大会や事業が中止するなか、3年ぶりのインリーダー講習会を開催しました。例年カレー作りを行い、子どもたちの協調性や達成感を感じさせますが、飲食は控えて、ワックスボールづくりを実施することが決まりました。

KYT講習会で火の取り扱い方など、市子連の先生が模造紙に書いたイラストで、丁寧に説明をし、子どもたちも理解できた様子でした。最初、子どもたちも火の扱い方など、怖々でしたが、最後は慣れて手際よく作れました。初めての試みで、ろうそくの始末など考慮する点もありますが、反省点も含めて熱中症対策など来年度の実施に向けていきたいと思えます。



KYT講習会の様子



ワックスボールづくりの様子

青少年夏休みチャレンジ教室「寺子屋スロー数学」

(1) ねらい

- ①小学校5、6年生に向けて中学、高校で習う分野を分かりやすく教え、小学生では体験出来ない数字の世界を紹介することで、算数好きな子供達になお一層の興味、向上心を持たせる。
- ②ご家族での参加なので、保護者の方に子供達の探求心、追究心を一緒に感じてもらう。また、子供達の粘り強い心の成長を養い、今後の学習の一助とする。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生5年生、6年生とその保護者

周知方法：公民館報、市ホームページ、学校へのタブレット配信で募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/29（金） 10:00～11:30	寺子屋スロー数学 「図形数の世界へようこそ」	講義 実習	地域指導者 群馬高専 特命教授 斎藤 斉	12

(4) 評価と反省

先生が初めから繰り返し話していたことは、「出来ないことを恥じないこと。」「出来なくても分からなくても、数学の授業等に参加して欲しい。」「出来ないと嫌いになる。とても悲しい事。好きになって欲しい。」

最初、みんな恥ずかしがっていたが、途中から答えを大きな声で言い始めた。間違えても恥ずかしくなく答えられる雰囲気になり、最後はみんなで集まって、昔の教科書や数学に関する本を見ていました。

勉強の場でなく、学習の場を作る。来年度はダメもとで中学生にも参加募集をかけてみようと思いました。



講座の様子



講座の様子

夏休み青少年チャレンジ教室

(1) ねらい

- ①小学生児童を対象として、地元学生の協力のもと夏休み中の課題学習の場を提供し、苦手課題の克服の仕方を習い、自らの感性を養う。
- ②教室を通して学校、学年そして世代間の枠を超えた協調と礼儀を養うことを目的とする。
- ③今回の講座「夏休みのドリル・宿題を仕上げよう」については、群馬医療福祉大の学生企画によるもので、講師役の学生達も、企画力、指導力等、学ぶことが多く、ボランティアを通じて地域子供達との世代間交流も深める。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生児童を対象とする。

周知方法：公民館報、市ホームページ、学校へのタブレット配信で募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/1（月） 9:00～11:30	夏休みの宿題手助け教室 「絵画の部」	実習	群馬医療福祉大学の 学生 5名	18
2	8/4（木） 9:00～11:30	夏休みの宿題手助け教室 「絵画の部」	実習	群馬医療福祉大学の 学生 3名	17
3	8/9（火） 9:00～11:30	夏休みの宿題手助け教室 「読書感想文」 1～3学年対象	実習	群馬医療福祉大学の 学生 5名	8
4	8/12（金） 9:00～11:30	夏休みの宿題手助け教室 「読書感想文」 4～6学年対象	実習	群馬医療福祉大学の 学生 5名	8

(4) 評価と反省

初めに講師の自己紹介をしてもらった。ただ、名前を言うだけでなく、「好きなお菓子はコアラのマーチです。」など、子どもが打ち解けやすいように挨拶するので、子どもたちからも「私も好き。」と返してくれたり、絵画だけでなく挨拶の仕方まで勉強になりました。

絵画の部では、下書きを済ませてくる子や、クレヨンで下書きなしで描く子など、十人十色でした。低学年ほど、早く終わりにになり、先生達はその後、お話をしたり、一緒に片付けをしたりして、一生懸命に作品を描いている子の邪魔をしないようにしました。保護者からも「うちでは全然はかどらなくて助かります。」と感謝の言葉をいただいた。時間配分や、宿題を持って来ようように来年度は考えたいと思います。

また、読書感想文は、絵画の時と違って、学習時間が2時間半では足りな

い程集中していました。時間になっても書いていて、保護者が迎えに来てても帰らない子もいました。逆に学習する姿や、講師の学生とのやり取り見ていて、とても感謝されました。コロナの関係で欠席者も多かったのですが、不安との戦いでしたが、実施して良かったと思います。



絵画教室の様子



絵画教室の様子



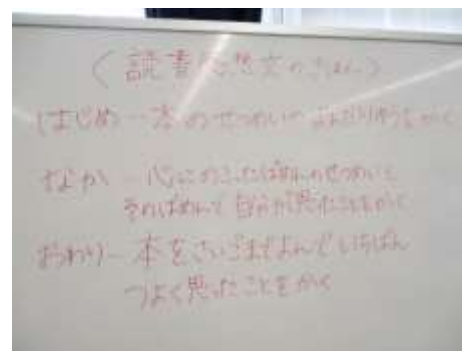
絵画教室の様子



絵画教室の様子



読書感想文教室の様子



注意事項

青少年健全育成会事業 親子手作り教室「しめ縄づくり」

(1) ねらい

- ①昔からの伝統を受け継ぎ、季節を重んじた「しめ縄づくり」を通して、日本古来の風習を学ぶ。
- ②しめ縄づくりを通して親子の絆づくり、他の子との連携や協調性を学ぶ。

(2) 対象等

対象：東地区内の子ども及び保護者（子ども会）

周知方法：子ども会育成会を通じてチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/10（土） 9:00～11:30	親子手作り教室 「しめ縄づくり」	講義 実習	地域指導者 稲葉 武 東地区子育連本部役員	82

(4) 評価と反省

130名の申し込みがあったが、コロナでキャンセルが相次いだ。また、子育連の本部役員もコロナの陽性者や、濃厚接触者が相次ぎ、少人数の対応だったが、協力し合った結果、無事に終えることが出来た。また、共愛のインターンシップの子がいてくれたので本当に助かった。

9時からの開始だったが、早い子は9時50分に終わり、終わり次第、流れ解散とすることにした。作りたい子は何本かしめ縄を作っていた。

講師がしめ縄づくりをしやすいように、しめ縄を何本も用意して下さり、とても子どもたちは喜んでいて、講師も高齢なので、子育連の役員から後継者でこの伝統ある行事を守って欲しいと話していた。

駐車場が狭いので、どうなることか心配していたが、自転車や送迎で混まずに済んだ。この日は快晴で風もなく、外で実施することが出来て本当に良かったと思った。来年も実施できればと思う。



しめ縄づくりの様子（中央の男性は講師）

3 学びあい・人権・地域ふれあい

学びあい

Zoom体験講座

(1) ねらい

- ①コロナ禍でオンラインの活用が広がる中、代表的なWeb会議システムの一つであるZoomを体験する。
- ②オンライン会議など地域活動への活用の一助とする。
- ③新しい学びを通じて生活の利便性向上につなげる。

(2) 概要

対象：東地区在住の方 各回10名

周知方法：公民館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/28(火) 10:00~11:30	初心者向けのタブレットを使ったZoom体験講座	講義 実習	株式会社ジーシー シースタッフ 小平 悠介 新井 久子	10
2	6/28(火) 14:00~15:30	初心者向けのタブレットを使ったZoom体験講座			8

(4) 評価と反省

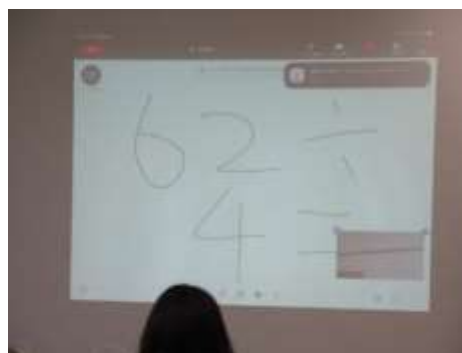
講師の丁寧でわかりやすい説明とアシスタントのサポート、講師が用意した共通のタブレット端末の使用により、高齢者が多いにもかかわらず操作でつまずく人もなく順調に進行した。他のビデオ通話アプリとの比較や用語の解説、よく使う機能の体験など初心者にとって有意義な内容だった。

午後の部は時間に余裕ができたため、学校の授業形式で漢字クイズや計算問題などを出題し、習いたての機能を使って複数の方法で回答させる等、画面共有の実演を行い好評だった。

受講生も熱心で休憩時間も質問が絶えず、今度は「会議の主催者(ホスト)」を学びたい等、ステップアップ講座を希望する声もあった。会社のZoom会議に早速参加したいという受講者もいた。アンケートの結果も満足度が高かった。



真剣に取り組む受講生



学んだ機能を使ってクイズに解答

スマホLINE講座

(1) ねらい

- ①スマートフォンの活用が広がる中、代表的なアプリの一つである「LINE」を便利に使うための基本操作を体験する。
- ②スマートフォンを活用し、地域活動への一助とする。
- ③新しい学びを通じて生活の利便性向上につなげる。

(2) 対象等

対象：東地区在住の方 10名

周知方法：館報、市ホームページに掲載

会場：東公民館第1・2会議室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/29(水) 10:00~11:30	スマートフォンのLINE を便利に使うため講座	実習	(株)ジーシーシー スタッフ 小平 悠介 氏 新井 久子 氏	9
2	6/30(木) 10:00~11:30	【午前の部】			9
3	6/29(水) 14:00~15:30	スマートフォンのLINE を便利に使うため講座			8
4	6/30(木) 14:00~15:30	【午後の部】			8

(4) 評価と反省

本講座を開催した結果、地域の方々より以前より「LINE講座」の実施を望んでいたとの意見をいただきました。本講座には、90歳の方が参加され、スマホを使いこなし、LINEを真剣に学ぼうとする姿に感無量でした。

また、講師を依頼した㈱ジーシーシースタッフの担当者は、参加者に対して親切丁寧で細やかに対応してくれたと高評価をいただくとともに「第2弾のスマホを使った企画」を実施してほしい旨、要望もあった。参加者の多数は、高齢者が多く、スマートフォンも「アンドロイド」、「iPhone」、「らくらくホン」などの3種類の機種があり、使い方も異なり、開始までに時間を要した。この講座を通して、スマホのLINEを利用することで、普段会えない家族と友人とのコミュニケーションが図れるとともに、災害などの緊急時の連絡手段として有効なツールであると感じた。

なお、参加者から継続してスマホLINE講座を開催してほしい旨、要望も多いことから第2弾も計画したい。



真剣に取り組む受講生



席と席の間隔を開けた感染症対策

◆好評につき第2弾「スマホLINE入門講座」

(1) ねらい

- ①スマートフォンの活用が広がる中、代表的なアプリの一つである「LINE」を便利に使うための基本操作を体験する。
- ②スマートフォンを活用し、地域活動への一助とする。
- ③新しい学びを通じて生活の利便性向上につなげる。

(2) 対象等

対象：東地区在住の方 10名

周知方法：館報、市ホームページに掲載

会場：東公民館 造形創作室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/29(水) 10:00~11:30	スマートフォンのLINE を便利に使うため講座	実習	(株)ジーシーシー スタッフ 新井 久子 氏 他2名	11
2	6/30(木) 10:00~11:30				11

(4) 評価と反省

本講座を開催し、地域の方々より以前より「LINE講座」の実施を望んでいたとの意見をいただきました。講師を依頼した(株)ジーシーシースタッフの担当者は、参加者に対して親切丁寧に細やかに対応してくれたと高評価をいただくとともに来年度以降も継続してほしい旨、要望も多数あった。

また、公民館の中では、稼働率の低い造形創作室を活用し、マスクの着用や手指の消毒及びこまめな換気をするなど新型コロナウイルス感染症対策講じ実施した。

この講座を通して、スマホのLINEを利用することで、普段会えない家族と友人とのコミュニケーションが図れるとともに、災害などの緊急時の連絡手段として有効なツールであると感じた。来年度以降も継続して事業を実施していきたい。



真剣に取り組む受講生



こまめに窓を開けて感染症対策

「沖縄の海でヨガしよう」講座(東公民館・元総社公民館共催)

(1) ねらい

- ① コロナ禍で、皆で集まった講座ができない中、遠隔地から参加できるZoomの特性を生かし、沖縄の海を見ながらヨガで運動不足解消とリフレッシュを目指す。

②今年、本土復帰50周年を迎える沖縄からの配信とすることで、歴史の振り返りの一端とする。

③全ての年代が参加できるよう休日の開催とする。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住・在勤・在学者400名（Zoomプロライセンス契約）

(3) 内容（★はZoom開催）

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1 ★	9/11（日） 10：00～11：00	コロナ禍のリフレッシュ。休日の朝に沖縄（国頭村）の浜辺からZoomでヨガを配信	Zoom	（一社）沖縄ヨガ協会 代表 坂上 恭子	72

(4) 評価と反省

講座本番開始前の9時～10時に接続テスト時間を設けて、案内動画を流していたが、そのテスト時間にホスト（主催者）側での接続トラブルが何度か起こってしまった。テスト時には発生しなかったが、原因は今後究明していきたい。また、台風の影響で、実施日を延期し、延期後の日程も台風予定となってしまうので、急遽本番3日前に撮影したヨガ講座を配信するとした。延期のためか、事前申込は125名程だったが、当日の参加者は72名となった。なお、参加人数については、市のZoom契約では100人以下となるため、沖縄の本土復帰50周年記念の歴史的観点から東地区生涯学習奨励員連絡協議会に後援となってもらい、定員500名のプロライセンス契約にて開催することができた。その際、Zoom使用ができる方のみの参加となるため、通常の館報や市のHPでの周知では、参加対象者への周知が難しかった。その対策として、講座の紹介（CM）動画を作成して、YouTubeショートで配信するなどを試みた。

講座終了後のアンケートには、大変良かったと大勢の方から長文での感想をいただき、講座の満足度はとても高いことを実感した。

講師については、飛込で依頼をした方だったが、事前準備の際の協力から本番での講座内容や参加者への語り掛けなど全てがとても素晴らしい方であった。講師からも継続開催の希望をいただいております、次はサンセットヨガなどで開催をしたい。また、他公民館と共催をしたことで、周知先も広がり、事務の分担も公民館を越えて行えたので、今後も他公民館と共催で行える事業を模索していきたい。



講座の CM 動画（8/15～8/23 配信）



ヨガ前に前橋市～国頭村の紹介



ヨガ（晴天だった 9/8 撮影）



当日講師は自宅から挨拶や質疑応答に対応

「浮いて待て！」講座

（１）ねらい

- ①近年、全国各地で起こっている水害時の避難方法など水害について学ぶ講座とする。
- ②水辺での事故への対処方法を、ミニプールを使つての実演で学ぶ。
- ③休日に開催することで、勤め人や学生も参加できる講座とする。

（２）対象等

対象：東地区在住・在勤・在学の方

周知：公民館報、フェイスブック、市ホームページ、地区情報サイト「あ ず まある」への掲載

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/17（土） 10:00～12:00	講話、ういてまってボトルの作成、入水体験	講義と実技	前橋消防水難事故自主研究グループ	32

(4) 評価と反省

ニュース等にもよく出てくる川や海の水難事故について、事故はどのようにして起こるかとその対処法を、子どもでも分かるように教えてくれる講座だった。講義の際は、子ども達にクイズ形式で問題を出しながら、受講者に考えさせて進めていく内容だった。またペットボトルを使った「浮いて待てボトル」の作成では、子ども達に好きな色を塗らせたり、持ち帰り用のキャラクター袋を用意したりと、子ども達の記憶に残る制作になるように講師がよく考えてくれていた。駐車場ではプール入水体験を行った。この講座を受けて、溺れている人がいたら「浮いて待て!」とさけび、近くにある浮くものを投げ、自分が助けに行くのではなく、救助を素早く呼ぶことが正解なんだと知ることができた。また、実際に背浮きを体験した子ども達は、体験したことが無い子に比べて、水難事故にあったときの対処法が確実にレベルアップしたと思う。アンケートにもあったが、年に1度は開催をしたい講座であった。



講義の様子



入水体験（浮いて待てポーズ）

◆西部地区4公民館連携事業◆ ～ 歩くことから始めよう♪ ～

「スマホ(アプリ)を活用した健康ウォーキング講座」

(1) ねらい

- ①スマートフォンのアプリ「G-WALK+」を活用し、ウォーキングを通して体力の向上と健康の増進を図る。
- ②西部地区住民の親睦と交流を図るとともに地域活動への一助とする。
- ③新しい学びを通じて生活の利便性向上につなげる。

(2) 概要

対象：東地区、元総社地区、総社地区、清里地区在住の方 先着 30 名

広報：館報、チラシ及びHPへ掲載

会場：東公民館第1・2・3会議室・東ふれあい公園

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/26(水) 10:00~11:30	ウォーキングアプリ「G-WALK+」の使い方・正しいウォーキング講座	講義 実技	(公財)前橋市まちづくり公社 赤石 国明 氏 藤江由莉子 氏	13
2	11/1(月) 10:00~11:30	ノルディック・ウォーキング講座	講義 実技	(公財)前橋市まちづくり公社 赤石 国明 氏 高井 溪 氏	13

(4) 評価と反省

西部地区に在住する市民を対象にスマートフォンを活用して健康増進を図るとともに交流を深めるために西部地区の4公民館が連携して事業を行った。本講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講者にマスクの着用及び手指消毒を求め、机と机の間隔を1m以上開けるとともに座席は各机に1名とし、窓を開け換気をするなど感染症対策を重要視して実施した。講師は、(公財)前橋市まちづくり公社で各種指導資格を有する赤石氏に依頼し、親切で丁寧な指導をしていただいた。

受講者からは、正しく歩くことで足腰などの負担も軽減でき、体力の向上と健康の増進も図れることを学んでいただくことができた。今回の反省点として、開催時期もあったが講座への申込者も少なく、各種団体や各市内スポーツ施設などに協力依頼し、チラシによる広報等も行ったが、結果として定員割れとなった。今後は、実施時期や企画内容等も検討して、スマホを活用した健康増進に繋がる事業継続して行きたい。



晴天の中で「正しい歩き方」を学ぶ



「ノルディック・ウォーク」を体験

【動画】「沖縄の海でヨガしよう」

(1) ねらい

①9月11日(日)に開催したZ o o m講座「沖縄の海でヨガしよう」につ

いて、受講者から強く望まれた動画で講座内容の配信を行うもの。また、リフレッシュ効果の高い沖縄の海辺でのヨガを好きな時に、自宅で受講してもらう。

②公民館イベントをインターネット上で周知するための手段として動画を活用していく。

(2) 概要

9/11（日）に開催したZ o o m講座「沖縄の海でヨガしよう」講座を編集し前橋市公式 YouTube に公開。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/14（月）より配信	Zoom講座「沖縄の海でヨガしよう」の配信	YouTube動画の視聴	(一社) 沖縄ヨガ協会代表 坂上 恭子	319 (3/13現在)

(4) 評価と反省

9/11に開催したZ o o m講座の参加者アンケートより、多くの方が動画での配信を希望したため、市公式 YouTube に掲載したもの。

オリジナル動画では、マイクが講師の声を拾う設定にしたため、波の音は拾えていなかったもので、編集作業で波の音を加え、また1時間のヨガ講座について、全て字幕を付ける作業を行った。

配信後には、9/11の講座申込者全員へ、配信の案内をメールし周知を図った。



サムネイル画像



講師の説明の字幕

スマホかんたん入門講座

(1) ねらい

- ①スマートフォンの基礎的な使い方を学習する機会を提供し、デジタル・デバイトの解消を目指す。
- ②スマートフォンを活用することで生活の利便性向上につなげる。

(2) 概要

対象：東地区在住の方 10名

周知方法：公民館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/24(木) 14:00~15:30	初心者向けスマートフォン 基礎講座(全2回)	講義 実習	株式会社ジーシー シースタッフ 新井 久子 岩田 陽子	10
2	11/25(金) 14:00~15:30			株式会社ジーシー シースタッフ 新井 久子 国松 圭子	9

(4) 評価と反省

参加者はスマートフォンを使い慣れていない高齢者で、文字入力をしたことがない人もいたが、講師のゆっくりと親切丁寧な説明とアシスタントのきめ細かいサポートにより、概ね順調に進行した。

基本操作や用語をわかりやすくかみ砕いた解説と、インターネット検索やグーグルマップの使い方など実生活に役立つ便利な機能を体験し、初心者にとって有意義な内容だった。参加者は、画面の操作に苦労しながらも興味深く取り組み、講座終了後も質問が絶えず熱心に受講していた。

初心者向けの使い方を体系的に学ぶ講座は需要が多く、今後も定期的 to 実施していきたい。



講師の様子



アシスタントによるサポート

人 権

「手をつなぐ作品展・人権標語展」の開催

人権週間に合わせて地区内小中学校5校の児童・生徒に人権標語を作成してもらい、その中から優秀作品を選出して館内住民交流スペースに約1か月間【令和4年12月21日(水)～令和5年1月20日(金)】展示すること

で、子どもたちの人権教育学習成果の発表と地域の人権意識向上を図った。

また、併せて前橋市手をつなぐ育成会主催の「手をつなぐ作品展」を12月21日～1月9日に同時開催し、障がい者の方々が作業所で制作した製品などを多くの来館者に見ていただいた。



手をつなぐ作品展



人権標語展

地域ふれあい

東クローバー教室

(1) ねらい

- ①健康で生きがいのある充実した人生の構築・創造を図る。
- ②高齢者と地域社会とのふれあいを深める。
- ③こころ豊かな生活づくり（健康づくり・仲間づくり等）に貢献する。

(2) 対象等

対象：コロナ禍で密を避けるため、60歳以上の東地区在住者限定。

周知：公民館報、老人会への回覧

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/29（金） 10:00～11:30	「若返りエクササイズ」	講義・実技	前橋市地域おこし協力隊 橋本大介	40
2	8/8（月） ①10:00～ ②13:30～ 同じ映画を午前・午後に上映	名作映画会「コウとチョウゴロウの夏」	映画上映	講師無し	①47 ②10

3	8/31 (水) 10:00～11:30	「免疫力を高める食事」	講義	群馬ヤクルト販売(株)	34
4	9/29 (木) 10:00～11:30	「睡眠と健康の知恵袋」	講義	明治安田生命保険相互会社	54
5	1/12 (木) 10:00～11:30	「肺炎について」	講義	済生会前橋病院 呼吸器内科代表部長 宇津木 光克	46

(4) 評価と反省

コロナ禍のため、昨年度は1度しか対面で行えなかった東クローバー教室だったが、今年度は5回全てが対面講座となり、延べ231名の参加者となった。その中でも「若返りエクササイズ」講座は、橋本講師が明るく分かりやすく効果的な高齢者の身体の機能改善について教えてくれたや定期的に受講したいなど特に好評であった。

また、済生会前橋病院の医師による「肺炎について」講座も、講師の宇津木医師が今年度赴任したことにより、済生会前橋病院では呼吸器内科での入院も可能になったなど、コロナ禍で忙しい呼吸器内科の代表部長のため、講師を務めていただいたことは大変貴重であった。

その他、どの講座も申込時には定員超となっていたため、講師のいない名作映画会では、午後にも開催することで、定員のために受講できない方が出ないように努めた。



「若返りエクササイズ」



「肺炎について」

4 自主学習グループの育成援助

(1) ねらい

- ①各グループの活動について、理解を深め、親睦を図る。
- ②生涯学習を推進し、文化を育てる。
- ③豊かな地域づくりに寄与する。

(2) 対象等

対象：東公民館自主グループ連絡協議会各グループの会員

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/20(水) ～8/20(土)	サークル見学・体験月間	見学体験	自主学習グループ	24 団体
2	1/16(月) 14:00～16:00	新春合同研修会 「解明！古代群馬の中心 『推定上野国府跡』」	講演	市文化財保護課 副主幹 阿久澤智和	38 人

(4) 評価と反省

サークル見学・体験月間は、令和2年度及び3年度に計画したがコロナ禍で中止となり、今年度初めて実施した。参加希望の団体を対象に、通常のサークル活動時間に参加者を受け入れ自由に見学や体験をしてもらった。自主連協36団体の内24団体が参加した。広報活動支援として、館報、市ホームページに記事掲載のほか、参加グループの紹介ポスターや一覧表を作成し館内に掲示配布した。今後も実施を希望する声が多くあり、概ね好評だった。

新春合同研修会は、次年度の減免申請についての説明会の後、前橋市の出前講座を利用し「解明！古代群馬の中心 推定上野国府跡」の講演会を行った。東地区に近い郷土の歴史で、東地域の地名などにも触れて解説があり、興味関心を持って学ぶことができた。



サークル見学・体験月間
参加 24 グループの紹介ポスター



新春合同研修会
講演会

参考：自主グループ連絡協議会行事

回	月 日	内 容	参加者等
1	4/18（月）	総会	50 人
2	5/23（月）	代表者会議	41 人
3	11/12（土）13（日） 14（月）～27（日）	東公民館文化祭 舞台発表 作品展示	13 グループ 9 グループ
4	12/19（月）	東公民館大掃除	47 人
5	2/1（水）	東公民館自主連協だより 「なかま」第 31 号発行	2000 部

5 生涯学習奨励員活動支援

「チャレンジウォーキングあずま2022」(東地区社協共催事業)

(1) ねらい

- ①コロナ禍でも 3 密を避けて開催できるウォークラリーイベントを東地区住民に向けて開催
- ②地域の名所などをウォーキングしながら東地区の歴史などを地区住民に知ってもらう。
- ③コース上のチェックポイントにクイズを設け、解答者には記念品を配付することで、多くの方が楽しんで参加してくれることを目指す。

(2) 対象等

対象：東地区在住者、東地区の学校（高校、大学、専門学校等）在学者

周知方法：公民館報、市HP、チラシ、公民館内で案内動画上映

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/1（火）～ 12/16（金）	「チャレンジウォーキング あずま2022」	ウォーク ラリー	東地区社会福祉協議 会、前橋市社会福祉協 議会、地域包括支援セ ンター東	343

(4) 評価と反省

東地区社会福祉協議会と共催でコロナ禍でも実施可能なイベントを前年に引き続き開催した。今年度は北コースを延長するとともにクイズを2問増やして、内容の充実を図った。なお、コースを巡りクイズとアンケート用紙を提出していただいた方にオリジナルトートエコバッグまたは啓発用のトイレットペーパーを配付した。また、今回は実施時期を2週間程度早めるとともに対象者を地域の学校に通う生徒や学生にも拡大し、若い世代が参加しやすいように配慮した。参加者も前年度から60名ほど増え、アンケート等の意見も概ね好評であった。



北コースと南コースで10問のクイズ



オリジナルエコトートバッグ

生涯学習奨励員連絡協議会研修会

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員等が、地域や町内などで生涯学習を推進していくための基本的な知識や学習情報を知る機会とする。
- ②地域における学習課題を考え合い生涯学習推進を図るための一助とする。

(2) 対象等

対象：東地区生涯学習奨励員

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/17(金) 10:00~11:30	伝わる広報紙づくり	講義	前橋市秘書広報課 須藤 真衣主任 小瀬 美香主任	17

(4) 評価と反省

広報紙づくりは生涯学習奨励員にとって一番大切な仕事である。なかなか、各町一人で行動しているため、皆さんパソコンの取り扱い方など悩まれているようである。「広報紙に掲載するもの、題材、アイデアを見つけることはどうしているか。」「編集ソフトはどのようなものを使っているか。」など、質問が

相次いだ。また、取材の時の注意点や注意すべきポイント（フォント等）を学んだ。なかなか、研修では学びきれなかったが、今度、学んだこと活かせる様、各町で工夫している点、取材方法などを意見交換し、有意義な研修となった。

生涯学習奨励員連絡協議会研修会及び講演会(7月)

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員等が、地域や町内などで生涯学習を推進していくための基本的な知識や学習情報を知る機会とする。
- ②地域における学習課題を考え合い生涯学習推進を図るための一助とする。
- ③東地区の歴史を学び、地元への郷土愛を育む。

(2) 対象等

対象：東地区生涯学習奨励員、東地区在住・在勤・在学の方

周知方法：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/15（金） 10:00～11:30	前橋市市政130年を迎えて	講義	群馬地域学研究所 代表理事 手島 仁	53

(4) 評価と反省

当日の資料が無く残念だったが、パワーポイントやNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の映像を流したりして、「花燃ゆ」の視点からの前橋の紹介が多かったが、とても分かりやすく充実した時間を過ごせました。映像の音が聞こえなくて途中迷惑をかけたが、今度は違った視点から前橋の事を知りたいと思いました。



講座の様子



講座の様子

生涯学習奨励員連絡協議会研修会及び講演会(3月)

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員等が、地域や町内などで生涯学習を推進していくための基本的な知識や学習情報を知る機会とする。
- ②地域における学習課題を考え合い生涯学習推進を図るための一助とする。
- ③東地区の歴史を学び、地元への郷土愛を育む。

(2) 対象等

対象：東地区生涯学習奨励員、東地区在住・在勤・在学の方

周知方法：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/17（金） 10:00～11:30	戦国西上州の武将と城	講義	群馬県文化財保護 審議会専門委員 久保田 順一	—

(4) 評価と反省

未実施なので後日報告。

6 地域づくり推進事業の協力援助

(1) ねらい

地域文化の特色を思い、醸成された「共助」の良さを進め、和やかで心豊かな地域性を持続していくことを目的とする。

(2) 概要

東地区では、平成20年度に地域づくり協議会が設置され、地域づくり推進事業を行っている。現在は、福祉部会・文化部会・安全安心対策部会・公園愛護部会の4部会が設置されている。

(3) 事業内容

本年度当初からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、その予防の観点から大人数が集う協議会事業の殆どが中止または延期のやむなきに至った。

部会ごとの状況は概ね以下のとおりである。

① 福祉部会

子育てサロン部門では少子化・核家族化による育児ストレスの解消を図り、地域全体で子どもを育てる取り組みのひとつとして「あずま子育てひろば」を、毎月第四木曜日に東公民館視聴覚室で開催すべく準備したが、本年度は昨年度に引き続き、隔月（年間計6回）で日時や会場並びに実施

方法を変更して開催した。

この子育てサロンは、子育て世代の親子が気軽に集まれる「居場所」として定着し、根強い人気もあるので、次年度以降も引き続き新型コロナウイルス感染予防に工夫・配慮しながら開催に向けての取り組みを行ってきたい。

② 文化部会

秋に一か月間開催された「ファミリーウォーキング」に伴い、コース上で「あずまかるたクイズ」を実施しその普及を図った。

また、公民館文化祭の中で「あずまかるた大会」を催し、かるたの普及活動を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、文化祭の規模が縮小されたため実施できなかった。

さらには、地区内で美術等の自己研鑽に努めている人の発表の場として、2月5日から10日まで「第5回ふるさとあずま作品展」を開催した。過去2年間、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となっていたため、今回は数多くの力作が集まり、参観者からも好評の声を聴くことができた。

③ 安全安心対策部会

東地区内の6土木業者と災害時における防災活動協力に関する協定を締結している。特に大雪（平成26年級）の時は地区内にある小学校の周りを中心に除雪を行う予定である。

また、安全安心対策部会では東地区自治会連合会と協調し、8月26日には群馬県当局（群馬県土木事務所長）を訪れ、滝川の浚渫や環境整備等に関する要望行動を行った。

9月17日には、公民館講座事業（浮いて待て！）と安全安心対策部会がタイアップし、地区内住民が水害時の水難事故への対処方法を学んだ。

11月23日には防災研修事業として、地区内全自治会関係者を対象に、大雨災害時における個人個人の時系列による避難行動を学ぶ「マイタイムライン講座」を開催した。

④ 公園愛護部会

公園愛護部会は、東公民館に隣接して完成した東ふれあい公園を東地区全体で管理するために新設した。実際に活動を行うため、地区内全自治会や各種団体が東ふれあい公園愛護会を設立し、6月から11月の間、当番制で公園の草刈り等の活動を行った。

7 情報提供事業

(1) 公民館だより「あずま」の発行

①住民参加による館報編集委員 8 名の編集委員会を月 2 回開催し、館報裏面を作成している。

②館報は毎月 1 日発行。地域の人口増加に伴い毎戸配布（14,900部×12カ月）も年々増えている。

③表面は、公民館主催事業、地区内行事、各種団体行事、市事業案内などを掲載し、裏面は、編集委員の取材記事などを掲載する。

今年度も、コロナ禍で地区のイベント紹介ができなかったため、5月・6月号では東公民館自主学習グループの活動紹介、6月・7月は市政施行130周年を記念して「前橋市の誕生 県内で初の市政施行」を、10月号でチャレンジウォーキングあずまの一部紹介として東地区内の名所を紹介するなど地域に根差した記事を多く掲載した。

また、9月号は敬老の日にあわせ地区内の元気な高齢者へのインタビュー記事を、2月号では地区の新成人からの抱負なども掲載し、地区内の情報を住民が興味を持つよう発信している。

(2) ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実前橋市ホームページ内に東公民館のページを展開。施設概要の他、公民館主催事業、地区行事、市民サービスセンター業務などを掲載。

また、前橋市フェイスブックにおいても、主催事業や地区行事などの地域情報を適時紹介している。

(3) 公民館内モニターにて来館者への情報提供

7月～8月に自主グループの活動紹介及びサークル見学・体験月間の紹介動画を作成し放映。8月には「沖縄の海でヨガしよう」のCM動画、また11月～12月には「チャレンジウォーキングあずま2022」の紹介動画を職員出演により作成・放映し、館内利用者へ各イベントの周知を図った。



自主グループ活動紹介及びサークル
見学・体験月間の紹介動画



チャレンジウォーキング 2022
紹介動画

8 各種団体事業の協力援助

主催	月日	事業内容	対象及び参加人数	会場
員実 会行 委	5/16（日）	第36回東地区のびゆくこども ものつどい並びに第23回東 地区ふれあいの広場	中止	東ふれあい 公園・東公民 館
子育連	4/16（土）	育成指導者初級講習会	中止	東公民館
	5/28（土）	スポーツ少年団体験教室	小学生、32名	東小学校・新 田小学校
	6/11（土）	第29回スマイルボウリング 大会、（講習会を実施）	大会中止 （講習会：本部役 員、東父親クラブ、 小学生他56名）	新田小学校
	7/9（土）	インリーダー講習会	小学生5, 6年生 対象 59名	古市町滝川 公園
	10/1（土）～ 10/31（月）	ファミリーウォーキング	家族等191世帯	東地区内
	10/31（月）～ 11/4（金）	書画展入賞作品展示	小学生、52作品 （絵画16、書道36）	東公民館
	12/10（土）	親子手作り教室 青少年健全育成会・子育連	82名	東公民館
	12/18（日）	第47回上毛かるた大会	中止	大利根小学 校・東小学校
自治会連 合会・体 育協会	5/22（日）	第54回東地区男子ソフトボ ール大会	荒天により中止	箱田中学・新 田小学校・大 利根緑地
	6/19（日）	第1回東地区女子ソフトバレ ーボール大会	300名	東中学校 箱田中学校
	10/2（日）	第61回東地区市民運動会	中止	箱田中学校
	11/20（日）	令和4年度東地区スポーツ 教室（ソフトバレーボール）	60名	東中学校
	2/19（日）	第50回東地区卓球大会	200名	東中学校
	3/5（土）	体育行事反省会	40名	東公民館
ブ老 連人 合ク ラ	6/23（木）	第8回グラウンドゴルフ 大会	108	東ふれあい 公園
	11/7（月）	第26回芸能発表会	中止	東公民館
全青 育少 成年 健	8/20（土）	令和4年度「こどもを明るく 育てる地区別会議」 ～少年の主張発表と講演、 学校近況報告会～	88名	東公民館

9 地元教育機関との地域連携事業の取り組み

東地区の教育機関である群馬医療福祉大学と前橋市は、教育研究や人材育成、地域防災など双方の有する資源を有効に活用し、様々な分野で連携協力していくため協定（包括連携協定）を締結しています。

群馬医療福祉大学では、地域貢献活動・ボランティア活動からより学びに重点を置いた「サービスマーケティング」という学習に取り組んでいるとのこと。今年度は小学生向けの「夏休みの宿題手助け教室」として、絵画と読書感想文の作成支援の場を設けたが、群馬医療福祉大学の学生にもサポートしてもらうことで児童とのコミュニケーションが活発になり、講座を円滑に進めることが出来た。

また、東地区の小中学校5校との連携事業として、児童・生徒の作成した人権標語（令和4年12月21日～令和5年1月20日の間展示）や書初め（令和5年2月2日～2月9日の間展示）の優秀作品を館内住民交流スペースのパネルボードに展示した。



読書感想文教室
(小学生・低学年対象)



書初め展示
(東地区小中学校児童生徒)

10 公民館利用状況

令和4年度 団体別利用状況

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
公共 団体	件数	42	31	46	109	49	31	58	59	63	43	46	577
	人数	1,011	422	1,246	6,084	498	318	833	1,292	400	377	689	13,170
青少 年団 体	件数	12	7	9	12	10	10	1	11	13	19	12	116
	人数	173	83	88	238	165	104	30	141	248	459	173	1,902
女 性 団 体	件数	10	18	10	8	5	9	9	7	8	7	7	98
	人数	187	242	169	159	73	150	143	129	142	138	114	1,646
成 人 団 体	件数	121	113	131	115	115	128	122	105	115	119	108	1,292
	人数	1,457	1,391	1,557	1,378	1,336	1,558	1,492	1,299	1,385	1,407	1,267	15,527
高 齢 者団 体	件数	2	2	5	4	2	2	2	2	2	3	8	34
	人数	18	18	42	110	17	17	18	18	16	72	66	412
主 催 事 業	件数	3	1	24	3	24	20	17	121	5	9	19	246
	人数	38	5	166	54	351	232	104	951	40	92	138	2,171
企 業 そ の 他	件数	105	91	97	85	81	100	105	103	120	95	103	1,085
	人数	938	1,013	911	844	896	970	1,052	841	987	790	967	10,209
合 計	件数	295	263	322	336	286	300	314	408	326	295	303	3,448
	人数	3,822	3,174	4,179	8,867	3,336	3,349	3,672	4,671	3,218	3,335	3,414	45,037

令和3年度との比較（2月末現在）

	件 数	人 数
令和3年度	2,243	31,404
増 減 率	154%	143%